

令和7年度授業改善プラン 技術・家庭科（技術分野）

大田区立大森第四中学校

平成6年度授業改善プランの検証

取組における成果と課題

- ・前年度に引き続き、ものづくりにおいて、主体的な学習に取り組む態度を養うため、電子黒板を使用し、画像や動画で視覚的に分かりやすい授業を展開できた。その結果、興味関心をもって授業に取り組む生徒が増えている。
- ・ものづくりの実習において、ほとんどの生徒は主体的に進んで取り組んだ。作業を分かりやすくさせるため、作業工程を画像や動画で説明し、生徒が確認できるようにした。また実際に工具を使う機会を増やし、実践を通して使い方を習得させ、技能を高めることができた。
- ・ものづくりで学んだ知識を日常生活に生かせるように、指導を今後も継続させていく必要がある。実践的、体験的な学習を重視した授業において、充実させる工夫を行うことで、基礎的・基本的な技術の習得を目指していく。また、危険予知能力を育む必要がある。そこから、思考・判断・表現を基にした主体的、対話的な深い学びにつなげていく。

技術・家庭科（技術分野）の授業改善策

<知識・技能>

- ・ものづくりやコンピュータの作業方法など、必要な知識の定着を、定期考査で評価する。
- ・ものづくりやコンピュータの技能を向上させるために、基礎・基本を徹底させ、技能向上を実感させながら得させる。正しく、安全に作業できるよう課題を設定し、作業ごとに評価する。

<思考・判断・表現>

- ・作品製作では、自分の生活がより便利になるために創意工夫させ、表現できる課題を設定する。課題に応じて各自の創意工夫を評価する。
- ・また表現では、基礎的・基本的な知識・技能を活用し、さらに安全に配慮できる判断力を身につけさせ、他教科の横断的な知識を基に、生徒の説明・論述・討論などの言語活動等を通じて対話的な学びの構築に努める。

<主体的に学習に取り組む態度>

- ・実生活の具体的な例を基に、作業の安全を十分に考慮して、各領域についての興味・関心をもたせる。その知識や実習の習得を図ることにより、より良い実生活の想像や摸索を行う。日常生活を意識した主体的な学習に取り組む態度を養う。また、授業内容を振り返らせるため、まとめをしっかり行い、工具の使い方や、片づけ方など、画像や動画で分かりやすく説明するなど、視覚教材を活用する。